

飯塚病院内科専門研修プログラム 総合診療科

当科は「急性期総合病院で活躍できる病院総合医の育成」を目指しています！日本最大規模の総合診療科で多彩な症例を多くの仲間と一緒に学びませんか？

<研修の特徴>

① 指導医とともに豊富な症例と向き合ってゆきたい

- 新規入院患者 2228 人 / 年（平成 26 年度）と豊富な症例のケアを、カンファや回診を通じて手厚い指導のもと経験できます。
- 入院を契機に顕在化した心理・社会的問題に踏み込んでゆくことが、疾病の再発防止につながります。指導医、看護師、MSW らとともに積極的に患者の抱える問題を整理し、治療を行います。

② 外来から集中治療までをカバーできる病院総合医を目指したい

- 外来ローテーションでは、平均 170 名 / 6 週間の新患を担当し、外来診療にどっぷりつかります。外来での時間軸を意識し、指導医の思考過程をなぞりながら問題解決能力を体得します。外来指導医が常駐しており、密度の濃い外来研修が可能です。
- 一般病棟は常時 100 ～ 120 床をケアしており、一人当たり 10 ～ 15 名を担当します。毎朝の教育カンファレンスの後、チームに分かれて病棟業務を行います。37 科の専門診療科と連携を取りつつ、複合的な患者を診療できる稀なフィールドです。
- 重症患者ケアを行うチームに参加し、HCU を中心に内科系集中治療の考え方・手技を集中的に学びます。

③ 指導力を身につけたい

- 「教えることは、学びを 2 倍にする」 スタッフ 18 人、後期研修医 34 人に加え、初期研修医 32 名と学び合います。重層の屋根瓦の中で、指導力を身につけつつ自らの知識をより深めることが出来ます。
- 臨床以外の業績作りや、キャリア構築を意識してもらうため、後期研修医には科内の教育・研究・組織マネジメントのいずれかのプロジェクトグループに配属されます。その中で改善活動をいかに行うかを学べます。
- 病院の委員会活動や改善活動に積極的に参加していただき、リーダーシップ能力の形成を支援します。
- ピッツバーグ大学メディカルセンター（UPMC）との提携により指導医の招聘や若手指導医の派遣を行なっています。UPMC 家庭医の指導やリーダーシップセミナーを当院内と現地で体感することができます。臨床留学をお考えの先生にも適していると思います。

みなさんにお会いできるのを楽しみにしています 飯塚病院・総合診療科 一同